

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
担当課長名：東 智徳

<b>事業名</b> としけいかくどうろいさわいちべとおりせん 都市計画道路 石和市部通り線	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 山梨県
<b>起終点</b> 自：山梨県笛吹市石和町八田地内 至：山梨県笛吹市石和町市部地内	<b>延長</b> 0.949 km	
<b>事業概要</b> 本事業は、笛吹市石和町中心部を東西に横断する区間（約0.95km）において、現道拡幅、歩道設置および電線類を地中化することにより、観光地域である当該地域内交通の渋滞解消と歩行者の安全な交通確保を目指し、地域の活性化に寄与する。		
H7年度事業化	H7都市計画決定	H7用地着手
<b>全体事業費</b>	72億円	<b>事業進捗率</b> 約96%
<b>計画交通量</b>	18,512台/日	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b>	<b>総費用</b> (事業全体) 84億円
	2.64	<b>総便益</b> (事業全体) 221億円 (事業費：83億円) (維持管理費：1億円) (走行時間短縮便益：221億円) (走行費用減少便益：0億円) (交通事故減少便益：0億円)
<b>事業の効果等</b> 評価対象区間延長949mの整備により、良好な市街地空間を確保し、交通の円滑化や防災機能の向上に寄与するとともに市街地の活性化が期待される。		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 平成8年度に商店街を中心に「市部通り整備推進協議会」を設立。また、平成13年度に石和町で市部通り地区計画を策定。石和町長及び地元協議会長から早期整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 本路線は、峡東地域と県都甲府市を結ぶ主要アクセス道路でもあるため、当該区間に流入する自動車交通量が多く、慢性的な渋滞を引き起こしており道路交通の円滑化を阻害している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成7年11月に事業認可を取得し、事業実績は96%となっている。残事業は、未買収用地が残り3件であり、工事は、用地取得後に道路拡幅工事、電線類地中化工事を行う。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 地権者の1名が失踪中で所在確認に時間を要したこと、また共有地（関係人546名）の処理等に時間を要したことなどによる。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。本路線は、石和中心部を東西に結ぶ幹線道路であり、地元の事業に対する期待も大きいことから事業を継続する。		
<b>事業概要図</b>		
石和市部通り線 L=949m、W=17m 事業費7,136,000千円 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。